

当院で使用するビタミン C 注射剤について

※当院では **FDA が承認したビタミン C（アスコルビン酸）注射剤（非遺伝子組換え製品（Non GMO））** を使用しています。

当院で使用するビタミン C 注射剤は、多くの国で使用されており、そのアレルゲン（アレルギー症状を引き起こす原因となる物質）の検査ではアレルゲン、特にとうもろこしアレルゲン（アミノ酸、タンパク質、ポリペプチド）は、原料および注射剤において未検出でした。

また納品される注射剤には、ロット毎の分析証明書が同梱されて安全であることが証明されています。

遺伝子組換え（GMO）原料由来のビタミン C 注射剤には、以下の健康リスクが懸念されています。

○GMO 原料（例：遺伝子組換えとうもろこし や 細菌由来の合成プロセス）が免疫応答やアレルギー反応を引き起こすリスクがあります。

○不純物の混入リスク

GMO 由来原料のアスコルビン酸注射剤は、製造工程で他の化学物質や副産物が残留する可能性が高まり、肝臓での代謝や腸内細菌による分解が行われないため、不純物がそのまま血流を介して肝臓や腎臓への負担や酸化ストレスを引き起こすリスクが高まる可能性があります。

○長期的影響に関するデータ不足

GMO 原料のアスコルビン酸を長期間・高濃度で静脈内投与した際の長期的な安全性データが不足しているため、予測できない副作用やリスクが後から判明する可能性があります。

○代謝負担と酸化ストレス

高濃度ビタミン C 点滴療法は、酸化還元反応を繰り返し、がん細胞の代謝に影響を与える一方で、正常細胞に対しても酸化ストレスを引き起こすリスクがあります。

特に不純物や異物が同時に投与されることで、そのプロセスが増幅され、このリスクが増大する可能性があります。